

# 高安詰所だより

第35号  
1877年  
11月23日



♪ 踊るアホウに、見るアホウ、♪...

「をやのめに」

秋季大祭に、真柱様のお言葉を直かに聞かせて頂くことができました。真柱様は仕上げの年を迎えるにあたっての心構えを諄々とお仕込み下さいました。

「諭達」の結び通り、自分自身の成人の姿をもつて親神様、教祖にお喜び頂きたいと、年祭活動に励んできましたが、ご身上をおして常に全教の先頭に立たれ、日々懸命におつとめ下さる真柱様のお姿を拝すると、少しでもご安心頂かねばと、大祭の日にあらためて心に誓いました。

「をやのめにかのふたものハにち／＼に だん／＼心いさむばかりや やのめにさねんのものハなるときに ゆめみたよふにちるやしれんで」とのお言葉通り、おやに喜んで貰いたいという親孝行の気持ち忘れず通ってれば、どんな節に遭ってもいずむことなく、心勇んで通れるとお教え下さっています。

詰所行事予定（十二月）

六日 詰所常会

八日 にをいがけ実動

十四日 おつとめ勉強会

十七日 大教会直轄祭参拝

二十日 勤務者修練

二十三日 大教会月次祭

二十五日 月例朝礼

二十六日 本部月次祭

教会長登殿参列

二十八日 餅つき

二十九、三十日 年末大掃除

第二十二期 修養科生大募集（十一月～二月）

「たすかりたければ

たすけたければ 修養科！」

大祭風景（詰所前）



年 祭 活 動

陽気ぐらしへ

一に、ひながたの道

二に、おたすけの日々

初席者 千四百名、修養科生 四百名のご守護を

教祖百四十年祭 お願いづとめ（本部神殿）

（毎週日曜、祝日、二十五日 午前十一時半より）

おつとめ後、おさづけのお取次ぎを頂けます

・神苑、境内地 受付（朝づとめ後）

・おやさとやかた東棟周辺 受付（八時～十五時）

・豊田山墓地 受付（九時～十六時半）

（一日コース） 次回は十二月十五日

（テーマ）おさづけは有り難い

（一泊二日コース）来年九月までありません

詳細は天理教ホームページ、若しくは詰所まで

よふぼく講習会

おやさとひのきしん



## 詰所の動き

### 松村マチ様五十年祭・松村道代会長様十年祭

十一月二日、六代会長夫人松村マチの御霊様の五十年祭と、八代会長松村道代の御霊様の十年祭が本部祖霊殿にて併せて執り行われ、年祭後の詰所での会食にも真柱様ご夫妻がお出まし下さいました。年祭活動中に真柱様にお入り込み頂けたことはまことに勿体なく有り難いことですが、それだけに気の引き締まる思いでもありました。尚同月二十二日、大教会祖霊舎に於いても年祭がつとめられました。

### よふぼく一斉活動日(第三回)

第三回目となる「よふぼく一斉活動日」が十一月三、四日に全国各地で開催されましたが、詰所勤務者一同も親里会場である第二食堂で受講させて頂き、年祭活動仕上げの年に向けての心構えを固めました。

### おかえり講話

秋季大祭終了後、詰所講堂に於いて郡山大教会の白熊繁一先生を講師に、「お帰り講話」が催されました。分かり易く、心にしみ入るお話で、皆さん熱心に聞き入っておられ



ました。また来る十一月二十四日(日)にもテレビラジオでお馴染みのパーソナリティー妹尾和夫さんを迎え、「おかえり講話」

(泉東分教会主催)が予定されています。ご存じの方も多いと思いますが、妹尾さんは天理高校出身のようぼくで、笑いあり、涙ありの楽しいお話を聞かせて下さいますので、是非ご近所の方にも広くお声掛け頂き、おちばがえりをお勧め下さい。

### ロビーコンサート(十月二十六日)

秋季大祭後、詰所で北阿連の面々による「阿波踊り」が披露されました。

今や世界的に有名な「阿波踊り」ですが、本場の迫力を詰所で堪能して頂きました。お帰りの信者さん方も次々に飛び入り参加、見よう見まねで踊り回り、「踊る阿呆」になりきって共に楽しい時を過ごしました。



○青年会総会(十月二十七日)

第九十八回青年会総会が開催され、国内外から大勢のあらしきとうりようが集い、年祭活動仕上げの年に向かう心構えを新たにしました。また前日には賑やかに前夜



祭が行われ、高安分会も模擬店を出店し大いに盛り上がりました。これに先立って秋季大祭後に昨年に引き続き、詰所前で趣向を凝らした模擬店や軽食を用意して帰参の方々を温かくお迎えしてくれました。

○おさづけの理拝戴

修養科第九九期生の楠澤芳枝さんがおさづけの理を拝戴されました。重い身上で難儀していた時に声が掛かり、何も知らないまま修養科を志願されましたが、同期の皆さんの献身的見護りに支えられ、元気になるがために無事この日を迎えられました。これからはしっかりとおさづけを取り次ぎ、皆さんに恩返しをしたいと熱く語っておられました。

「詰所ひのきしん」のお願い

来年一月から「詰所ひのきしん」を直轄教会ごとの月割り当番でお願いさせていただきます。再来年の教祖年祭には相当数の帰参者も見込まれますので、詰所ひのきしんを通しておちばに伏せ込んで下さるようお声掛けの程を宜しくお願い申し上げます。

高安詰所モットー

- 五つ いつものはなしかた
- 六つ むごいことをださぬよう
- 七つ なんでもたすけやい
- 八つ やしきのしまりかた
- 九つ ここでいつまでも
- 十ど ところのおさめかた

明るく楽しく暖かい  
高安詰所

(教祖お言葉)



発行 天理教高安大教会信者詰所  
発行者 芦田孝廣

印刷 天理市守目堂町二五五番地一

TEL 0743-63-0421